



第2回 開催のお知らせ

タイムトラベル体験を組み込み、感動体験を創出する新しい歴史ツーリズムの拠点となる“歴史の駅”を創っていきたいと考え、研究会を発足しました。ブックカフェ二十世紀を“歴史の駅”の出発地点として、全国に広がっていくことを願い、第2回目の会合を開催します。約1時間ゲストスピーカーのお話の後、懇親を深めたいと思います。

ぜひ、ご参加ください。

日 時：2016年9月27日（火） 19:00～21:00

場 所：ブックカフェ二十世紀 千代田区神田神保町2-5-4 開拓社ビル2階

TEL：03-5231-4853

会 費：3,500円（軽飲食付）

テーマ：日本の所作 「刀」

日本の文化というのは、佳いという感覚の共有体験が、多くの人に受け継がれて、形成されてきました。つまり、ある体験の中に文化の基礎があるわけで、それはすなわちある特定の動作（所作）の中にヒントが隠されています。

所作はやがて型となり、型の中に思想が芽生えます。思想にまで高められた型は道となり、それが今日の茶道であり、華道や武道、神道などに成長しました。したがって、日本人の所作を知れば、日本の文化の根っこが理解できるわけです。

今回は、そんな日本的な所作について、身近で簡単なことから、刀を通して話していきたいと思います。

ゲストスピーカー：近藤康成

1960年愛知県刈谷市生まれ、群馬大学工学部中退

自由劇場にて演劇を学ぶ、卒業後、松山家に弟子入り、故五代目河原崎國太郎師（人間国宝）にも師事。

30代からは舞台から映像にシフト、オスカープロモーションと契約、ドラマやCMに出演する。

2003年にフランスのメジャー映画に抜擢、国際的スターと共演する。

この頃から日本文化を再考しはじめる。

2013年伝ふプロジェクトを立ち上げる。

2015年伝ふプロジェクト法人化、現在に至る。

連絡先：“歴史の駅” 研究会 主宰 宮地 克昌

ケータイ：080-3128-0384 メール：miyachi-em@k.email.ne.jp